

事務事業名		都市計画道路3.4.201号高砂植下線整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	道路建設係	担当課長名	青木 茂良	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 計画的な中心市街地活性化の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11337	一般	8	4	3	都市計画道路3・4・201号高砂植下線整備事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					国県補助事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	23年度～28年度		根拠法令等	道路構造令 佐野市市道の構造の技術基準に関する条例					
	実施方法					一部委託					
	事業分類					施設等整備事業					
リーディングプロジェクト					該当なし						
市長マニフェスト					3-1						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
栃木県が施工する主要地方道桐生岩舟線の歩道整備事業と併せ、それとの交差点以南の市道220mの歩道整備・道路拡幅を行うことにより、歩行者及び自転車等の安全確保及び通過車両の円滑な通行確保を効率的に行う。	H25明許分・用地買収 2件 A=342.76㎡ 物件補償 2件 H26現年分・物件算定業務委託等 5件						
全体事業 工事延長L=220m 道路幅員W=18m (自転車歩行車道3.5~4.5m(両側))	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	工事延長	m				220	
	用地買収	件	1	2	8	6	
	物件補償	件	2	2	6	7	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

1.歩行者、自転車利用者 2.通過車両	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	歩行者、自転車数	人					
	通過交通量	台					

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

1.歩行者、自転車利用者の安全確保を図る。 2.通過車両の円滑な通行を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	整備率(事業費ベース)	%	5.5	10.3	23.2	100.0	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民の生活スタイルに必要な移動手段を確保するとともに、交通網を整備し、まちなかや市内外の交流を活性化させる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	まちなかが以前と比べて便利になったと思う市民の割合	%	25.5	25.9	28.0	29.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	1,800	30,090	47,000	198,590				
	県支出金	千円								
	地方債	千円	34,200	12,200	64,200	480,300				
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,100	1,838	6,730	25,451				
	事業費計(A)	千円	38,100	44,128	117,930	704,341	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	0	役務費	43	需用費	150	需用費	1,000
			需用費	21	委託料	3,013	役務費	50	役務費	1,001
役務費			296	工事請負費	0	委託料	11,000	委託料	3,520	
委託料			5,137	公有財産購入費	9,472	工事請負費	7,000	工事請負費	353,000	
使用料及び賃借料			188	補償金・賠償金	31,600	原材料費	350	公有財産購入費	56,820	
公有財産購入費			9,558			公有財産購入費	28,380	補償金・賠償金	289,000	
補償金・賠償金	22,900			補償金・賠償金	71,000					
正規職員従事人数	人	2		2		2				
のべ業務時間	時間	700		700		700				
人件費(B)	千円	2,724		2,759		2,759				
トータルコスト(A)+(B)	千円	40,824		46,887		120,689				
						707,100				
						0				
						0				

事務事業名	都市計画道路3. 4. 201号高砂植下線整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路建設係
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中心市街地活性化基本計画において、桐生岩舟線や市道1級1号線について、まちなかの拠点を結び、活性化を支えるためのシンボル軸として位置づける。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	本路線の整備については渡良瀬架橋へ繋がる佐野市発展の道路整備から、町なかでの生活が高齢化社会にも対応した、徒歩で生活が可能だけれども安全、安心に暮らせる道路空間整備になっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	まちなか活性化推進協議会より、南北シンボル軸(市道1級1号線)の整備実施計画について提言書が平成23年9月30日に提出され、見通しの良い交差点やゆとりのある歩道と残地を利用したの賑わい創出事業などの提案がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 道路管理者による道路整備事業であり、道路利用者(歩行者、自転車、自動車等)の安全確保、及び通行車両の円滑な走行が計られることは、上位目的である、まちなかへの都市機能集約、市内拠点間のネットワーク化、魅力的で住みやすい市街地の形成につながるものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 道路は不特定多数の人が利用するものであり、市道に認定されているので、市が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 本路線を通行する歩行者、自転車、自動車等を対象とし、それらの安全確保及び円滑な通行を計ることは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 担当職員は、必要最低限の人数であり、委託可能な業務については、外注する予定であることから、これ以上のコスト削減は見込めない。他の事業との兼ね合いや業務所要時間を余裕に取る事が出来ない状況なので、現在の所要時間は最低時間に切詰めたものであり、これ以上の短縮する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 道路は不特定多数の人が利用するものであり、公平であるため、受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	道路整備が完了すれば終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			